

私たちも知っておきたい!

おサイフ 古賀市の探検隊

問い合わせ
財政課
☎942-1198

ちよっと
気になることが
あって...

ねーねー
テスト勉強
した?



古賀市は
金持ちなのか、
はたまた
貧乏なのか...
とか。



はあ?
テストに
関係ない
じゃん!
でもさ、
大事なことだよ。
自分たちの将来
のためにもさ。



確かに...



まずは、
古賀市のおサイフを
知ることから
始めよう!



令和4年度からスタートする第5次古賀市総合計画の基本構想では、都市イメージとして「ひとと育つこが育つ」人がまちを支え、まちが産業を支え、産業が人を支え、みんなが育つ未来に向かって育ち続けるまち」を掲げており、これまでの古賀の歩みと育まれてきた特性を生かし、これからもまちづくりを進めていきます。

多様な人材が出会い、交流すること、共に歩むことで、それぞれの経験に基づく感性や知見、技術などが交差し、「掛け算」が起きるクロスオーバーによる「共創」が、私たちの地域社会の未来を拓いていきます。さまざまな場面でこれを強く意識し、まちづくりに取り組んでいきます。

令和4年度一般会計予算額は248億7541万円で前年度比10.4%（23億5200万円増となり、一般会計・特別会計及び公営企業会計を含めた予算総額は417億4803万円で前年度比6.8%（26億6766万円）増となりました。

公共交通 確保事業

9,523万円

AIオンデマンドバスの導入等、地域公共交通ネットワークの強化



環境施策 推進事務

2,871万円

環境基本計画、地球温暖化対策実行計画、ごみ処理基本計画の策定等

千鳥駅東口 周辺整備事業

1億4,093万円

（令和3年度繰越予算を含む）
利便性の向上のため、千鳥駅東口ロータリーと接続道路の整備のため用地買収と設計を実施

新型コロナウイルス感染症 対策事業

2億6,725万円

新型コロナワクチン接種を推進し、発症や重症化をできる限り抑制することまん延防止へ

汚泥再生 処理センター 整備事業

15億9,470万円

（令和3年度繰越予算を含む）
汚泥の再利用が可能な再生化設備を備えた汚泥再生センターの建設工事

コミュニティ 活動推進事業

9,285万円

自治会活動の支援、コミュニティ活動補助金の導入や地域づくりのサポート等

産前・ 産後支援事業

1,060万円

「うまれてきてくれてありがとうBOX〜こがからばこ〜」等

古賀駅 周辺整備事業

1億367万円

古賀駅東口の公園・自由通路・周辺道路の基本設計等、古賀駅西口の駅前広場の整備検討等

チルドレン ファーストの さらなる強化

学校施設 管理事業

8億7,048万円

（令和3年度繰越予算を含む）
大規模改修やトイレ改修等、学校施設の長寿命化及び学習環境の向上

古賀駅 西口エリア マネジメント支援事業

6,820万円

エリアマネジメント業務や拠点づくりと空き店舗改修への補助等

消費喚起 促進事業

1,055万円

商工会のプレミアム付き電子地域振興券発行事業の支援によるキャッシュレス決済普及推進等

今回の予算ページは古賀中学校の皆さんに協力してもらい、古賀市のおサイフを知る探検に出してもらいました。

中心市街地の活性化は新たなフェーズ

新たな時代の 価値観を捉えた産業振興

体育委員長
ツクキ
麻生 康喜

副会長
くろもと まみり
倉本 愛美莉

給食委員長
たけし 大誠
松尾 大誠

副会長
しづた あいり
渋谷 愛里

生徒会長
じゅん 千夏
自見 千夏

整美委員長
なつ 優太
中熊 優太

古賀市民一人当たりの予算は、
418,616円(前年度377,681円)

市民生活に最も関わりの深い一般会計の令和4年度予算総額は248億7,541万円。市民一人当たり約41.9万円の予算となり、前年度より4.1万円の増額になりました(令和4年2月末人口 59,423人)。

古賀市のお金(マネー)のことならなんでも分かる「まーね博士」

予算はなぜ必要なの？

皆の生活が豊かになるよう、入ってくるお金とそのお金の使い道を計画しないとイケないんだ。

今年度使うお金で目玉は何？

古賀駅周辺を便利で魅力的な空間にするために、西口エリア活性化の拠点整備支援や東口エリア整備に向けた基本設計を進めていくよ。

コロナの前と後で予算は変わった？

令和2年度からコロナ対策で出費が増えたよ。コロナで新たに使うお金もあったけど、事業やイベントが中止になって使われなくなったお金もあるんだ。でも、ワクチン関連や給付金の支給、事業者支援などで使ったお金のほうがずっと多いよ。

「チルドレンファースト」ってよく聞くけど何？

「子ども第一」という考え方だよ。「子どもたちの育ちと学びの支援」を最優先に取りだよ。

新しく始めることってある？

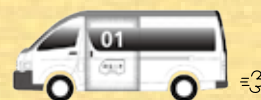
市内で生まれた赤ちゃんやビー用品やコスモス広場の商売など「うまてきありがとうBOX〜こがたのプレゼント〜」の予定。古賀中と千鳥小のトイレを洋式に直す予定。古賀市は、食品の出荷額が福岡市に続いて県で第2位だったりと工業力強い「モノづくりのまち」だそうです。財政力指数(財政の強さ)は県内の市(政令指定都市除く)の中で、なんと5位！企業に支えられているのが古賀市の強み、ということも知りました。駅周辺の開発が進めば賑わいのある街になるかも？と楽しみにしていました。

古賀市のおサイフの中は知らないことだらけ！

私たちの

「オンデマンドバス」って何？

家からできるだけ近いところで乗り降りできるよう、「何時に乗りたい」とスマホや電話で予約すると、AIがみんな乗れるよう最適なルートを選んで無駄なく走るバスだよ。一部の地域で運行を始めるよ。



財政課の仕事って何をやるの？

来年度の予算を組むのが一番大きな仕事だよ。建設課だったら道路を作りたいとか、学校教育課だったらICT教育(デジタルを使った教育)を進めたいとか、いろいろな課が市民により良い生活を送ってもらえるよう考えているんだ。全部組み込めたらいいんだけど、使えるお金の範囲は決まっているから、どの事業に優先して取り組むか市長に決めてもらうために、整理をするんだよ。市長が予算の案を作って、市民の代表である議会にOKをもらってから予算が決定するんだ。

出ていくお金(歳出)

計 248.8億円

民生費 41.3% 102.7億円

教育費 10.7% 26.6億円

公債費 5.7% 14.1億円

総務費 15.0% 37.3億円

消防費 3.1% 7.7億円

土木費 6.4% 15.9億円

衛生費 14.0% 34.8億円

その他 3.8% 9.7億円

国や金融機関などから借りている借金を返すためのお金

学校の管理運営にかかるお金(約11億円)や生涯学習、スポーツ支援のためのお金

国や金融機関などから借りている借金を返すためのお金

戸籍や税金、選挙、ふるさと応援寄附、市役所の管理運営などのお金

入ってくるお金(歳入)

計 248.8億円

市債 9.6% 23.9億円

地方交付税 13.3% 33.1億円

国・県支出金 27.6% 68.6億円

市税 28.7% 71.5億円

ふるさと応援寄附金 3.1% 7.6億円

その他 17.7% 44.1億円

依存財源
(国や県などからもらっているお金)

自主財源
(古賀市が自力で集めているお金)

国や金融機関などからの借金

市が自由に使える

使い道が決まっている

市民や企業が納めた税金

増える可能性のある大切な収入源だね

会計区分	令和4年度	前年度増減率(%)
国民健康保険	61億5,900万円	1.1
後期高齢者医療	8億9,000万円	6.1
介護保険	43億7,600万円	2.8
水道事業	16億9,200万円	1.6
下水道事業	37億5,600万円	2.0

*令和4年度から住宅新築資金等貸付事業特別会計は廃止しました。



▲当初予算の詳細はこちら